

(全7枚中の5枚目)

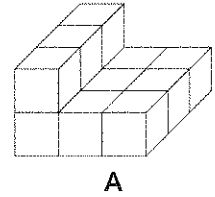
## ② 小学校 算 数

(解答は、すべて解答用紙に記入すること)

1 次の(1)、(2)に答えなさい。

(1) 立方体を何個か使って右の図Aのような立体をつくる時、他の立方体と面同士が接する部分ができる。

このとき、他の立方体と3つの面が接している立方体の個数を求めなさい。



(2)  $\sqrt{47}$ の整数部分をB、小数部分をCとする。

B(C+6)の値を求めなさい。また、求め方も書きなさい。

2 あ お い も り の5枚のカードをすべて使ってできる5文字の文字列を、辞書式(50音順)に並べる。

次の(1)、(2)に答えなさい。

(1) 31番目の文字列を書きなさい。

(2) も お り あ い は、何番目の文字列か、求めなさい。また、求め方も書きなさい。

3 1年生の加法や減法の意味の指導に関連して、+や-の記号を用いた式の指導では、式で表すことと式をよむことを重視する必要がある。式をよむとは、式から具体的な数量の関係を考えたり、式を活用して数量の関係を一般化したりすることである。加法の指導場面で、式から具体的な数量の関係を考えさせる学習を行うとき、式を具体的な場面と関連させるようにすることが大切である。式を具体的な場面と関連させることをねらいとした学習活動を、1つの式を例にあげて書きなさい。

4 次の文は、現行の小学校学習指導要領「算数」の「指導計画の作成と各学年にわたる内容の取扱い」の指導計画の作成に当たって配慮する事項の一部である。①～⑤にあてはまる語句を下のア～コから選び、その記号を書きなさい。

論理的な思考力や(①)力、(②)の能力を育成するため、(③)における様々な事象との関連を図りつつ、(④)的・体験的な活動など(⑤)的活動を積極的に取り入れるようにすること。

ア 探究

イ 実生活

ウ 理解

エ 判断

オ 直観

カ 学習課題

キ 算数

ク 問題解決

ケ 作業

コ 経験